



© 25 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L656822

NIE
教育に
関する
新聞を

4

小学1・2年生向け

しゅくだいがっしょう

福田岩緒作・絵

あゆみは歌を歌うことが好きです。けれども、歌が下手な吉田君から「おまえ うたへた!」と言われ、皆の前で歌うことが恥ずかしくなりました。音楽の時間に、口を開けて歌っているふりをして、隣で歌う友達のゆりちゃんが驚いた顔であゆみを見ました。声を出していないと気づかれたのでしょうか? 先生も次の授業までに「大きな 声で うたえるように」と、宿題を出した時、一瞬、あゆみを見ました。先生も怪しんでいるのでしょうか? 授業の後、ゆりちゃんから「さっき 声を出して うたってたかったでしょ」と聞かれたあゆみは、とっさに「えっ! 出、出してたよ…」とうそをついてしまい…。

(PHP研究所 1320円)



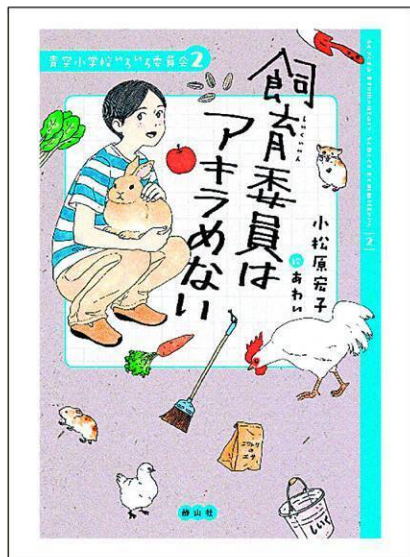
小学3・4年生向け

飼育委員はアキラめない

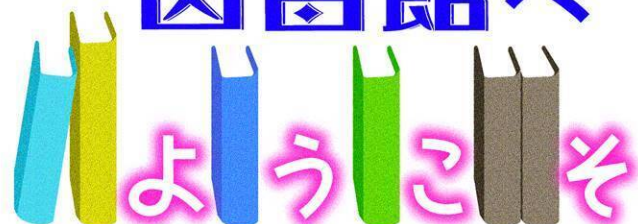
小松原宏子作 あわい絵

生き物のことにものすごく詳しく、^{すずむし}「鈴虫を何百匹にもふやした」などの伝説を持つ「いきもの博士」アキラは飼育委員に選ばれました。初めての仕事は、ニワトリとウサギの飼育小屋の掃除と餌やりです。アキラは担任の先生の入院騒ぎで当番を忘れかけましたが、放課後、6年生の飼育委員長が飼育袋を届けてくれました。袋の中にはニンジンとリンゴの皮、まな板などが入っています。アキラは掃除と餌やりの仕方を聞こうと、職員室に行きましたが、誰も先生がいません。そこで飼育小屋に行きました。ところが、扉を開け、掃除道具を取りに行った隙に、ニワトリが1羽、ぴよんと外に出てしまいました。アキラはあわてて追いかけてきました。

(静山社 1320円)



図書館へ



学校行きたくない どう解決?

もうすぐ新学期。でも、学校に行くのがつらい、と思ったら!? 図書館の本の中にも、学校や友達のことで悩む子どもたちが登場します。いったいどんなことで悩み、どうやって解決しようとしたのでしょうか?

(山梨県立図書館 小林 和美)

小学5・6年生向け

明日、学校へ行きたくない 言葉にならない思を抱える君へ

茂木健一郎・信田さよ子・山崎聡一郎著

ニコニコ生放送番組「明日、学校へ行きたくない」を元に作られた本です。番組に投稿された子どもたちの体験談、例えば、「名門校に入学したけれど、九月一日から急に動けなくなった」「学校ではいじめ、家庭では父からの暴力があった」が掲載されています。「専門家がいっしょに考える」ページもあり、脳科学者の茂木さん、公認心理師・臨床心理士の信田さん、「こども六法」(弘文堂)の著者の山崎さんからの「学校に行きたくないときは、あせらないで休む」など、アドバイスが書かれています。勉強が苦しくてつらい、友達とうまくいかない、など、学校のことでもややもやしている人におすすめの一冊です。



(KADOKAWA 1320円)

中学生向け

かがみの孤城 (上・下巻)

辻村深月著 村山 竜大絵

中学1年のころは、真田さんたちから嫌がらせされ学校を休んでいます。誰にも相談できず、母が勧める不登校の子向けスクールも、登校時間になるとおなか痛くて通えません。ところがある日、部屋にある大きな鏡が光り輝き、ここは鏡の中の世界へ。狼のお面をかぶった少女から、何でも一つ、願いがかなう城のゲストに招かれたと告げられ、驚いて逃げ帰ります。次の日、もう一度鏡の中に入ると、ここをふくめて7人の中学生が集められており、狼少女から城の中の「願いの部屋」に入る鍵探しを命じられます。ここは「真田美織が、この世から消えますように。」という願いをかなえるため、勇気を出し、鏡の中の城に通い始めました。

(ポプラ社 各803円)

